

連合岩手のとりくみ

震災からの復興・再生の先導役へ 「地域フォーラム2018」を4月21日(土)に開催



昨年の「地域フォーラム in 岩手三陸」

東日本大震災から7年が経ちました。

東日本大震災からの「復興」は岩手の最大の課題であり、岩手の振興のためには三陸の「安全の確保」「くらしの再建」「なりわいの再生」を柱とする「復興」が不可欠であると同時に「復興」に取り組むことが岩手の未来を切り拓く取り組みであると思います。

連合岩手は、2017年4月に「震災復興&クラシノソコアゲ 地域フォーラム in 岩手三陸」を大船渡市で開催しました。

昨年の「地域フォーラム」を通じて、勤労者・生活者、研究者、企業、行政、メディアなど幅広い個人・団体等の意見・要望・希望あるいはそれぞれが感じている「壁」の存在を共有する中で、「自立」「心の復興」「雇用」のキーワードが課題として浮かび上がるとともに、課題に対し、分野を超えてともに手を携えて乗り越えることの重要さとその

ための「プラットフォーム」づくりの必要性を確認しました。「地域フォーラム in 岩手三陸」から浮かび上がった課題である「自立」と「心の復興」をつなぐ「雇用」を基本テーマとし、現状認識を共有し、さらなる課題解決への一歩を踏み出すために「震災復興&クラシノソコアゲ 地域フォーラム2018」を2018年4月21日(土)に盛岡市・岩手教育会館で開催します。

今回は、連合本部の神津会長も参加し、岩手県達増知事の特別講演や岩手大学・杭田俊之准教授の基調講演、さらに宮古社協の有原領一さん、釜石リージョナルコーディネーター協議会の手塚さや香さん、三陸鉄道社長の中村一郎さんから復興・再生に向けた提言をいただきます。

連合岩手は、地域フォーラムを通じて復興・再生の先導役を担いたいと思います。ぜひ多数の参加をお願いいたします。

「地域フォーラム2018」

2018年4月21日(土) 13:30~

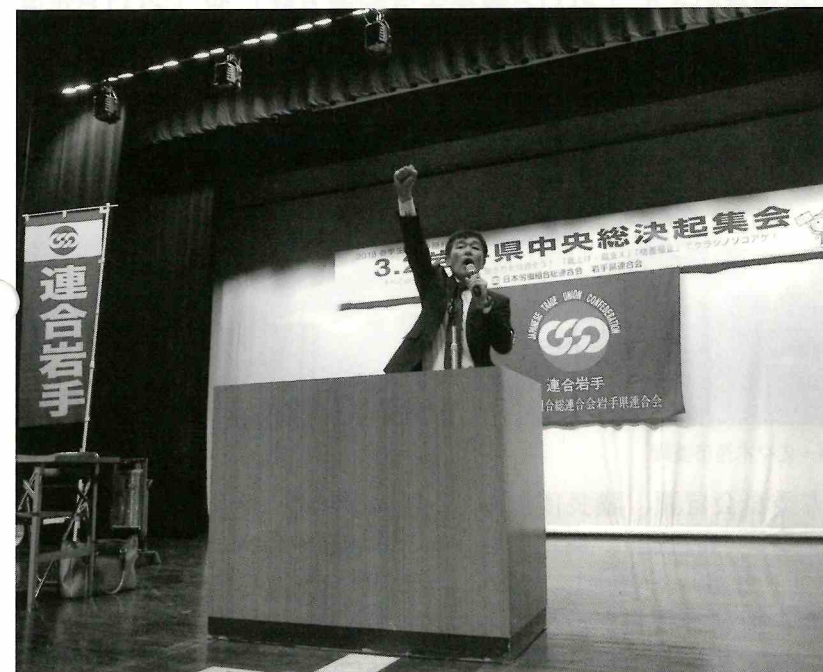
盛岡市大通り「岩手教育会館」

特別講演 岩手県知事 達増拓也氏

基調講演 岩手大学准教授 杭田俊之氏

提言者 宮古市社会福祉協議会 有原領一さん／釜石リージョナルコーディネーター協議会 手塚さや香さん／三陸鉄道代表取締役社長 中村一郎さん

連合岩手「2018春季生活闘争勝利 3.2岩手県中央総決起集会」を開催



八幡会長の団結ガンパロー



本部・富田総合労働局長が報告



佐藤事務局長が情勢報告

「底上げ・底支え」「格差是正」 「労働者の立場に立った働き方」を実現し 「ディーセントワーク実現」をめざそう

連合岩手は3月2日(金)岩手県公会堂で「2018春季生活闘争勝利 3.2岩手県中央総決起集会」を開催、約400名が参加し「2018春季生活闘争」の勝利に向けてたたかう意思統一をしました。

「総決起集会」の冒頭、あいさつに立った八幡会長は『「底上げ・底支え」「格差是正」に向け2018春季生活闘争を果敢に戦おう』と訴えました。

引き続き、佐藤事務局長が春季生活闘争をめぐる情勢や闘争課題の共有化のため情勢報告を行いました。

続いて、連合本部の富田珠代総合労働局長から2018春季生活闘争方針と春季生活闘争をめぐる情勢について報告をいただきました。富田珠代総合労働

局長は「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた取り組みと「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の継続的な取り組み、「すべての労働者の立場に立った働き方」実現への取り組み、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の運動について提起するとともに、「日本における賃金メカニズムとしての春季生活闘争の重要性を社会に広げよう」と訴えました。

その後、中川青年委員長が集会宣言(案)を提起、満場の拍手で確認し、八幡会長の団結ガンパローで集会を閉じました。集会終了後は、市内をデモ行進し「底上げ・底支え」「格差是正」を訴えました。

新入社員の方、30歳以下の方を応援します!

フレッシュヤーズ"チャンペーン"

FRESHERS CAMPAIGN 2018 3/1 → 9/30

A 給与振込口座の新規ご指定
「今ならもれなくプレゼント!」
QUOカード(500円分) 2,500円分

B カードローン(マイプラン)の新規ご契約

C ろうきんダイレクト(インターネットバンク)の新規ご契約

D ろうきんEpiカードの新規ご契約

ATMが便利でお得に!
(ろうきん)ならではのサービスで
見落としがちな出費もしっかりチェック!!

カードローン(マイプラン)で安心!
お使いみちが自由だから
突然の出費にも強い味方に!!

ろうきんダイレクトで
もっと便利なサービスを!
パソコンやケータイで
24時間ご利用できるから忙しいあなたにも安心!!

ろうきんEpiカードは
便利でお得!
キャッシュカードと
クレジットカードを
1枚にまとめた便利なカード!

2018年3月1日現在
0120-1919-62
(受付時間:平日 午前9時~午後5時)
http://www.tohoku-rokin.or.jp

東北労働金庫

「2018春季生活闘争方針」「2018年度具体的運動方針」を確認

「連合岩手第42回地方委員会」で闘う意思統一

連合岩手は、2018年2月9日（金）に第42回地方委員会を開催。「底上げ・底支え」「格差是正」「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現をめざす「2018春季生活闘争方針」や「2018年度具体的運動方針」などを確認しました。連合岩手・構成組織・地協・単組が一致団結し、最後の最後までたたかい抜こう。



紙パ連合・菅原賢一委員



高教組・佐々木秀市委員



全自交・森茂委員



JAM・小岩睦委員



自治労・小澤豊和委員



岩教組・金田一文紀委員

地方委員会冒頭、議長団に小野寺健委員（高教組）、鹿川宏範委員（JP労組）を選出し、佐々木正人特別執行委員を委員会書記長に任命するとともに、各種委員を任命しました。

続いて、執行委員会を代表して八幡会長があいさつ、春季生活闘争や政治状況等にふれながら堂々と闘いを進めようと訴えました。

来賓として連合本部・矢木孝幸副事務局長と全労済岩手推進本部・齋藤健市本部長にご出席いただき連帯と激励のごあいさつをいただきました。

引き続き、「一般活動報告」「2018春季生活闘争方針（案）」「2018年度具体的運動方針（案）」「第48回衆議院議員選挙の取り組みのまとめ（案）」などを報告・提案し、活発な議論を行いました。

発言は、紙パ連合・菅原委員から北上製紙の事業閉鎖に係る取り組みについて、JAM・小岩委員から取引の適正化の課題やホームページの更新、機関会議の平日開

催の検証などについて、自治労・小澤委員からは退職手当引き下げに対する闘い、非正規労働者の処遇改善、安倍政権が目論む憲法「改正」への対応などについて、岩教組・金田一委員からは教職員の働き方、憲法9条改定阻止の取り組みなどについて、高教組・佐々木委員からは障がい者の雇用・生活などについて、全自交・森委員からはライドシェアの問題と推薦議員の拡大などについて、それぞれ意見や問題提起がありました。

発言に対しては佐藤事務局長から答弁を行い、すべての報告・議案について賛成多数で承認されました。

地方委員会終了後、引き続き「2018春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を行いました。

集会では、「底上げ・底支え」「格差是正」「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現に向け闘う意思統一をするとともに、八幡会長の団結ガンバローで2018春季生活闘争をスタートさせました。



第42回地方委員会 会長あいさつ

連合岩手
会長 八幡博文

第42回地方委員会開催にあたり、所信の一端を述べ、ごあいさつと致します。

第一は、2018春季生活闘争方針についてであります。

2018春季生活闘争を取り巻く環境については、業界業種で温度差はあるものの、総じて多くの企業の業績が昨年より軒並み好転している状況にあります。また、県内の景気動向についても、県は消費・建設・生産活動に於いて、総じて回復の動きが続いており、雇用環境も高水準で推移していることから景気は緩やかな回復傾向が続いていると述べています。

加えて、経営側も総理の要請も考慮してか3%程度の賃上げに「社会的要請」と捉えて、賃上げの必要性については、一時金も含めたとの表現ではあるものの、経団連の経営労働委員会報告においても認めている状況にあります。

このような状況下に於いて、今次2018春季生活闘争のとりわけ賃金闘争においては、まずは2014年から継続してきた「月例賃金にこだわる闘い」はもちろんのこと、上げ幅のみならず賃金水準の絶対値にこだわる取り組みとあわせ、規模間格差の是正そして雇用形態間格差の是正の取り組みをすすめ「底上げ・底支え」「格差是正」を実現していくことが求められています。そのためには闘い方として、特に中小・零細においては、2年前からの労使の真摯な取り組みで徐々にその成果が表れてきた「大手追従・準拠からの脱却」と「取引慣行の是正による適正配分」の取り組みを同時に推し進めていくことが重要です。

連合岩手としても、これらの状況と本部方針を踏まえ、昨年の賃金実態調査に基づき、全国平均との格差の是正分も加味しつつ後ほど議案で提起する方針を提起し、具体的な環境整備に努めていくこととします。

全国的には、この間企業収益が過去最高を記録する中、労働分配率は低下を続け、実質賃金は横ばい状況となっており、結果として個人消費の回復も勢いが見られない状況にあります。

岩手においても前段で述べたとおり、企業業績は良好な状態であることから、人材確保を含めた持続可能な企業経営を含め、労働組合の存在価値を発揮する絶好のチャンスであるとも考えます。

「働き方改革」の議論も含め、労使の真摯な交渉による私たちの闘いこそが、社会全体にとって必要であり、それが組織された労働者の使命であるとの自信と確信を持ち合いながら、全ての労働者のため、堂々と闘いを進めていこうではありませんか。

第二は、政治状況についてであります。

安倍政権は、通常国会に於いて改正労働基準法、同一労働同一賃金の実現に向けた法改正、などいわゆる「働き方改革」関連法案を提出する予定となっています。連合は、この間長時間労働の是正にむけ、上限規制の導入および同一労働同一賃金についての法改正については、早期に実施すべきとの対応を行ってきました。しかし一方で高度プロフェッショナル制度および裁量労働制の拡大には反対であり、何としても阻止していかなければなりません。これ以上この国から過労死・過労自殺を出さないためにも、私たち労働者の立場に立った「働き方改革」につなげていかなければならないと考えております。この点、今後の国会の状況によってはさらなる闘争の強化をはかっていかなければならない状況も想定されることから、その際は、みなさんのご理解とご協力をお願い致します。

これらに加えて、この国の将来を左右する安倍政権がもくろむ憲法改正についても現実味を帯びてきております。私たちは、かつての戦前戦時中の労働運動が弾圧されてきた歴史を踏まえたとき、「平和なくして労働運動無し」との基本を再認識しつつ、日本国憲法の特にも九条の改正については、平和を脅かすことにつながる事のないようしっかりと対峙していく必要があると考えます。

そのためにも、野党の連携が重要であり特に民進党、立憲民主党、希望の党においては、足並みをそろえた対応を求めるとともに、これらの対応を通じて来年実施される参議院議員選挙についても勢力の再結集を期待するものです。

第三は、今年度の具体的な運動方針についてであります。

基本的には、昨年の定期大会で確認いただいた2年間の運動方針に基づき提案しておりますが、連合岩手と構成組織そして地域協議会がなおいっそう連携の強化をしつつ、東日本大震災からの復興をはじめとした政策・制度要望の取り組みや、未組織労働者の底上げのための最低賃金の引き上げ、などこれまでの取り組みはもちろんのこと、特にこの1年間においては組織拡大について本腰を入れて行動することで、組合のないところに組合をつくるのが連合岩手の社会的な使命であるとの思いで取り組んでいきたいと思ひます。

また、明年12月に結成30年を迎えるにあたり、これまでの運動を総括しつつ、組織・未組織に関わらず、連合岩手が常に労働者に寄り添うことにより、結果信頼される運動母体となるよう、構成組織・地域協議会とともに組織強化に向け取り組んで参りたいと思ひます。

以上申しあげ、連合岩手執行委員会を代表してのあいさつと致します。

ZENROSAI NEWS

0317A020

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済



おかげさまで全労済は
60周年を迎えました

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全 労 済 岩手推進本部
岩手県労働者共済生活協同組合

■盛岡支所
019-622-0631

■北上支所
0197-65-0160

■一関支所
0191-26-2678

■釜石支所
0193-21-1122

あなたと愛車をまもる
マイカー補償見直しキャンペーン実施中!!
2月1日(木)~4月30日(月)

お見積もりプレゼント
期間中、所定回数は通車でお見積もりいただいた方には
全労済オリジナル
ピットくんキーホルダー
をプレゼント!

ご加入プレゼント
期間中、ご加入いただいた方には
さんわりキャッシュのようなお礼が支持される
ロングセラー商品
スコッティ キャッシュディスプレイ
(220W)をプレゼント!

※詳細は各支所までお問い合わせください。